

オペレーションズ・リサーチ誌 総目次

第47巻 2002年

〔特集〕

企業事例	1月号 (4~31 ページ)	号	頁
西岡靖之	特集にあたって	1	4
久保幹雄, 大西真人, 他	サプライ・チェーン最適化システム	1	5
フェレンツ カタイ	産業分野におけるスケジューリングと最適化	1	11
坂口 隆	制約論理プログラミングの探索手法と対話型スケジューリング	1	16
西田大, 他	最適輸配送計画問題への数理計画法の適用	1	22
田辺孝夫	企業間のスケジューリング調停システム	1	27
データ解析コンペティション：金融マーケティング(2)	2月号 (74~101 ページ)		
岡太彬訓	特集にあたって	2	74
荒木長照, 石垣智徳	リテールバンキングによる顧客活性化	2	75
森田裕之			
長田伸一, 長田紘明	金融機関における顧客理解のための分析事例：	2	81
本橋永至, 守口 剛	金融行動と金融意識との関連性の把握		
里村卓也, 江原 淳, 他	金融チャネル利用実態からの顧客セグメンテーション	2	87
平山克己, 田村亮二	データマイニングによる金融データ解析	2	93
岡太彬訓, 木村陽一郎	講評 平成12年度データ解析コンペティションを終えて	2	99
田口 東			
石井 進	講評 平成12年度データ解析コンペティションを終えて	2	100
スポーツとOR	3月号 (136~164 ページ)		
穴太克則	特集にあたって	3	136
上田 徹, 住舎俊宏	どの野球選手の攻撃力が優れているだろうか	3	137
武井貴裕, 瀬古 進	野球の最適打順を考えてみよう	3	142
穴太克則			
西嶋尚彦, 中野貴博	トップコンディションを準備する	3	148
軽部光男	新しいスポーツ施設はどこに建てるのが良いのだろう	3	155
杉原厚吉, 藤村 光	勢力圏図を利用したスポーツチームワークの解析	3	161
JIT生産システムの数理	4月号 (206~242 ページ)		
大野勝久	特集にあたって	4	206
平木秀作	相互補完国際物流システム	4	207
田村隆善	混合品種組立ラインにおける製品投入順序づけ問題	4	213
高橋勝彦, 中村信人	ジャストインタイム生産ラインの管理方式	4	220
小島貢利, 中島健一	かんぱん方式の数理	4	225
中出康一	U字生産ラインの性能評価	4	231

大野勝久	生産ラインの最適制御	4	237
ファジィ OR5月号 (280~314 ページ)			
坂和正敏	特集にあたって	5	280
石井博昭	ファジィ組合せ最適化	5	281
乾口雅弘	可能性計画法：最適性問題を中心として	5	288
坂和正敏, 加藤浩介	大規模多目的ファジィ計画法	5	295
西崎一郎, 坂和正敏	ファジィゲーム	5	302
岩本誠一	ファジィ動的計画法	5	309
企業と環境問題6月号 (344~392 ページ)			
小池清	特集にあたって	6	344
小池清	環境経営の時代	6	346
森田恒幸, 松岡譲	地球温暖化予測シミュレーション	6	353
上野明	ゴミ問題とリサイクルと拡大製造者責任	6	360
吉澤正	環境マネジメントシステムと審査登録制度	6	367
西山久美子, 水本江理子	環境情報開示の流れ	6	375
木村雅史	環境と企業の選択	6	381
佐藤博之	市場からの環境誘導政策—グリーン購入について	6	387
地震被害軽減のための戦略的アプローチ7月号 (416~452 ページ)			
糸井川栄一	特集にあたって	7	416
目黒公郎	わが国の地震防災上の最重要課題の解決に向けて —既存不適格建造物の耐震改修を促進させる環境整備について—	7	417
清野純史	人的被害に着目した地震防災シミュレーション —一家屋倒壊と列車事故を例にとって—	7	424
能島暢呂	被害情報の統合による早期被害把握の数理モデル	7	432
加藤孝明	パーコレーション理論を用いた市街地の防災性評価	7	441
石橋健一, 藤岡正樹	エージェントモデルによる災害時避難行動シミュレーションの試み —湘南海岸における事例—	7	447
ビジネスモデル8月号 (492~522 ページ)			
松尾博文	特集にあたって	8	492
渡辺悟康, 吉川明夫	ビジネスモデルの事例：個客をつかむケータイ CRM	8	493
早川弘之, 原裕淳	電鉄会社におけるビジネスモデルの変化について	8	499
高田真好	石油化学産業におけるビジネスモデルの課題	8	505
井深丹	ビジネスモデルと TLO	8	512
藤原博彦	情報財としてのビジネスモデルと特許	8	518
データマイニング9月号 (564~598 ページ)			
香田正人	特集にあたって	9	564
岡田孝, 元田浩	相関ルールとその周辺	9	565
佐藤雅春	マーケティングにデータマイニングを活かす	9	572
鶴田育緒, 後藤正輝	リレーションシップ・データへのデータマイニングの適用	9	581
香田正人			
大内雅晴	データマイニングを企業で成功させる方法	9	588
山端博	海外におけるデータマイニング事例	9	594

JABEE10月号 (631~665 ページ)

上田 徹	特集にあたって	10	631
太田 宏	モノづくり再興—JABEE 審査への期待	10	631
岸田 孝弥	経営工学関連分野と JABEE 審査—経営工学の新展開	10	633
平川 保博	JABEE プログラム審査	10	637
森 雅夫	JABEE 認定と経営工学「関連分野」 —社会システム系プログラムも視野に入れて—	10	642
依田 聖	JABEE の審査を終えて感じること	10	647
松見吉晴, 山田 茂	鳥取大学工学部社会開発システム工学科での	10	650
河合 一	経営工学関連分野 JABEE 試行審査を受けて		
向殿政男, 若山邦紘	JABEE のインパクト!!—JABEE 試行審査での貴重な経験—	10	655
森戸 晋, 吉本一穂	教育の国際水準達成 —早稲田大学経営システム工学科における取り組み—	10	660

情報通信と放送のデジタル融合とその課題11月号 (687~728 ページ)

中村 清	特集にあたって	11	687
鬼木 甫	インフラレベルから見た通信と放送の融合 —上下分離による競争環境の整備について—	11	688
加納 貞彦	通信・放送・新聞・出版産業の階層構造分析	11	696
土門 晃二	インターネットにおける外部性の効果	11	701
中村 清	情報通信と放送の融合とその政策課題	11	707
林 紘一郎	通信・放送融合法からインターネット法へ	11	714
三友 仁志	分離は融合のはじまり	11	722

PFI とは (PFI のインフラ整備における意義)12月号 (756~787 ページ)

西野 文雄	特集にあたって	12	756
西野 文雄	PFI—民間の資金と創意工夫を生かした公共サービス—	12	757
山下 明男	日本版 PFI の Best Practice の構築に向けて	12	762
美原 融	PFI と公共事業マネジメント	12	768
赤井 伸郎	PFI の経済学的考察—インセンティブの観点から—	12	775
田浦 裕久	PFI の課題と今後	12	785

〔論文・事例研究〕

中桐裕子, 栗田 治	狂牛病の微分方程式モデル	10	666
川中子 敬至	ゴミ・ステーションを巡回する収集車の経路問題	11	737

〔論文・研究レポート〕

枇々木 規雄	双対問題表現によるポートフォリオ最適化モデル	4	257
松村良平, 木嶋恭一, 他	新たなモラル・ハザード概念を分析するための エージェンシー・モデルの提案	7	459
上田 徹, 中村 剛	生態学的予測モデルに対するカルマンフィルタによる近似法の研究	12	794

〔OR 研究の最前線〕

室田一雄, 田村明久	数理経済学と離散最適化の新たな出会い	3	180
------------	--------------------	---	-----

〔解説〕

時永祥三

複雑系による経済モデル分析

- | | | |
|----------------------------|---|-----|
| 第3回 ファジィ推論システムの最適構成と推定への応用 | 1 | 32 |
| 第4回 カオスと経済動学—理論と応用— | 2 | 102 |
| 第5回 ニューラルネットワークと複雑系 | 3 | 165 |

離散最適化とその応用

毛利裕昭

「離散最適化とその応用」連載にあたって 11 729

塩浦昭義

第1回 離散凸関数はどのような性質を満たすべきか：
離散最適化の視点から 11 730

宇野毅明

第2回 アルゴリズムの高速化，投票力指数に関して 12 788

〔連載講座〕

新村秀一

OR と統計の融合

- | | | |
|---|---|-----|
| 数理計画法を用いた最適線形判別関数(1)—理論的な背景— | 1 | 38 |
| 数理計画法を用いた最適線形判別関数(2)—アイリスデータへの適用— | 2 | 109 |
| 数理計画法を用いた最適線形判別関数(3)
—多重共線性のある医学データの分析— | 3 | 172 |
| 数理計画法を用いた最適線形判別関数(4)
—2変量正規乱数データによるIP-OLDFの評価— | 4 | 244 |
| 数理計画法を用いた最適線形判別関数(5)—決定木分析との比較— | 5 | 315 |

量子情報処理パラダイム

- | | | | |
|------------|---------------|---|-----|
| 今井 浩 | 1. 量子計算の基礎 | 4 | 251 |
| 富田 章久 | 2. 量子暗号 | 5 | 322 |
| 松本 啓史 | 3. 量子情報科学 | 6 | 393 |
| 八森正泰, 由良文孝 | 4. トポロジーと量子計算 | 7 | 453 |
| 今井 浩 | 5. 量子計算と最適化 | 8 | 523 |

〔学生論文賞受賞論文要約〕

- | | | | |
|------|--|----|-----|
| 武藤正義 | 利他的効用関数による協力的秩序形成の可能性
—進化ゲーム理論的アプローチ— | 1 | 46 |
| 渡部大輔 | 収集・配送輸送システムにおける階層構造の最適化に関する研究 | 1 | 48 |
| 高橋利臣 | Bounds of Performance Measures in Large-Scale Mobile
Communication Networks | 1 | 50 |
| 橘 拓至 | Dynamic Light-path Configuration with GMPLS for
WDM Networks | 12 | 799 |
| 中桐裕子 | 伝染病の流行に伴う個体数変動の微分方程式モデル
—狂牛病発症データへのコンパートメントモデルの適用— | 12 | 801 |
| 中林 健 | 「国力に応じた軍事力」の国際比較 1984—1997 | 12 | 803 |

〔OR メモランダム〕

- | | | | |
|------|-------------------|---|-----|
| 牧野都治 | 干支（えと）まんだら | 8 | 529 |
| 藤崎節男 | 時価会計の導入後の企業評価について | 9 | 599 |

〔書評〕

篠原正明	『Data Envelopment Analysis: A Comprehensive Text with Models, Applications, References and DEA-Solver Software』	4	264
------	---	---	-----

〔著書紹介〕

学会創立 40 周年記念『経営科学のニューフロンティア』シリーズ

吉野秀明	『混雑と待ち』	1	52
原裕淳	『ロジスティクス工学』	2	114
大屋隆生	『内点法』	3	186
上田徹	『DEA—経営効率分析手法』	4	243
中川義之	『生産スケジューリング』	7	464
三浦英俊	『公共政策と OR』	8	531

〔情報の窓〕

第 46 回シンポジウムルポ	1	53
平成 13 年度秋季研究発表会ルポ	1	55
第 8 回企業事例交流会ルポ	1	58
インド OR 学会に参加して	3	187
第 47 回シンポジウムルポ	9	605
平成 14 年春季研究発表会ルポ	9	607
第 9 回企業事例交流会ルポ	9	609
平成 14 年春季研究発表会見学会ルポ	9	611
「待ち行列理論とその応用：未来への展望」シンポジウムルポ	9	612
第 14 回 RAMP シンポジウムルポ	12	805

〔ニュース等〕

学会だより	1	64
「都市の OR サマーセミナー」開催報告	1	70
平成 14 年春季研究発表会プログラム	2	115
学会だより	2	128
論文誌掲載論文概要	3	189
学会だより	3	196
学会だより	4	268
平成 13 年度第 3 回 OR 企業フォーラム報告	5	328
学会だより	5	332
平成 14 年度通常総会議事録	6	398
論文誌掲載論文概要	6	399
学会だより	6	404
平成 14 年度通常総会議案について	7	465
学会だより	7	482
会告 定款改訂の認可について	7	488
日本 OR 学会賞	8	532

平成 14 年度支部総会報告	8	536
平成 14 年秋季研究発表会プログラム	8	544
学会だより	8	556
論文誌掲載論文概要	9	603
学会だより	9	616
新フェローの紹介	10	628
学会だより	10	677
第 20 回日本 OR 学会学生論文賞	11	743
学会だより	11	746
論文誌掲載論文概要	12	807
学会だより	12	811
2003 年度 洋雑誌ご購入案内	12	817

〔その他〕

前田 忠 昭	変わるものと変わらないもの—2002 年の年頭にあたって	1	2
長谷川 利 治	会長退任の挨拶 会長としての 2 年間を省みて	7	414
小笠原 暁	会長就任の挨拶 会長就任に当って	7	415
原野 秀 永	山口 襄氏を悼む	11	686
伊理 正 夫	巨星墜つ—森口繁一先生を悼む	12	754

〔研究部会報告〕

1	61	2	126	3	192	4	26	5	330	6	402
7	480	8	541	9	613	10	675	11	745	12	810

〔会合記録〕

1	60	2	127	3	194	4	267	5	340	6	402
7	488	8	543	9	615	11	745	12	816		